



独立行政法人

国立病院機構盛岡病院

地域医療連携室だより



No. 27

(平成30年10月発行)

「隙間を埋める」

地域医療連携室長 千葉 実行



先日までの暑さが嘘のように、急に秋めいた気候となってまいりました。直近では台風21号や北海道胆振東部地震、また平成に入って最悪の豪雨災害となった西日本豪雨など、今年の夏は各地で天災に見舞われ、暑さが厳しいだけでなく災害の多い季節でしたが、皆様におかれましてはお変わりなく過ごしてでしょうか。

前回の地域医療連携室だより発行後、盛岡病院では大きなイベントが二つございました。ひとつめは9月1日に当院で行われた盛岡市総合防災訓練です。大規模災害時の病院全体の災害対応能力の向上を図り地域の皆様に貢献できる病院になることを目的に職員一同一生懸命取り組みましたが、当日御参加いただいた中央病院の野崎先生から「良くまとまっていた。盛岡病院の底力を見せてもらった。」と思いがけずお褒めの言葉をいただきました。今後に生かして参りたいと思います。

ふたつめは7月19日に行われた第5回地域医療懇談会です。約30名の地域の先生方・スタッフの皆様と共に学習し色々な情報交換を行うことができ、非常に有意義な時間を共有することができましたことに、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。盛岡病院を信頼し愛着を持っていただくにはどうすればよいか、盛岡病院を身内として慕っていただきもっと応援していただくにはどのような取り組みをしていけばよいか、たくさんのヒントをいただきました。また、「連携室の患者受け入れ窓口が一本化されたことでとても紹介しやすくなった」とお褒めの言葉も頂きました。おかげさまで今年度皆様から御紹介いただいている外来新患者数は昨年より25%ほど増加しております。今後も当院を受診していただいた患者様一人一人の治療に誠実に当たることを地道に積み重ねていくことはもちろんのこと、それを皆様に向けてオープンに、丁寧に発信して参りたいと思っています。

さて、盛岡市にも更なる超高齢化社会・多死時代が到来します。高齢者は種々の疾患を併せ持っていることが多く、そのマネジメントにおいては総合診療医的な視点が求められることが多いように思います。実際このような複雑な症例ではその状況に合った最善の積み重ねによる一見非効率な累積戦略の方が結果的にベストミックスの答えとなることも少なくありません。しかしながら現状では専門医志向に対するアンチテーゼとしての総合診療医制度は未だ十分に機能していないように思われます。このような中で今後盛岡病院が地域の皆様のために果たしていくべき役割は何でしょうか？その問いに対する答えの一つとして、盛岡病院でしかできない診療機能はもちろん維持しつつ専門診療の間の「隙間」を埋めていくことではないかな、と考えています。今後も盛岡病院が皆様に必要とされる病院であり続けるためには何が必要かを職員一同常に問い続け、更なる改善に向けて取り組んで参りますので更なる御指導御鞭撻を宜しくお願い致します。

●病院理念●

生命を尊重し、地域の人々に安心・信頼される医療を提供する

●基本方針●

- ①安心・安全な医療を提供します。
- ②病病連携・病診連携を通して地域医療に貢献します。
- ③専門的な知識と技術、倫理観を備えた職員を育成します。
- ④職員は互いに尊重・補完しあい、協働し良質な医療を提供します。
- ⑤信頼される医療を提供するための経営の健全化を図ります。

第5回地域医療懇談会を開催しました

平成30年7月19日（木）に『第5回地域医療懇談会』を開催しました。

地域医療連携の構築、強化を目指して、地域の先生方と意見交換する場を設けてきたこの会も今回で5回目となりました。

今回は地域の医療関係者29名と職員35名による賑やかな懇談会となりました。

菊池院長の開会挨拶から会は始まりました。

地域医療懇談会では『当院地域医療連携室の取り組み～専従看護師長を配置して～』というテーマで佐藤地域医療連携係長が講演を行いました。当院地域医療連携室の活動状況について報告するとともに、当院のモットーである「お断りしない」紹介受入方針を強くPRしました。

特別講演の前に、地域医療連携室を代表して千葉副院長より地域医療連携室の職員紹介を含めた挨拶がありました。

続いての特別講演では岩手医科大学整形外科学講座教授 土井田 稔先生をお招きし『気をつけた高齢者の腰痛』と題し、ご講演いただきました。一般向けに噛み砕いたわかりやすい講演内容で出席いただいた先生方からは、「大変勉強になった」等の感謝の言葉が聞かれ、大盛況に終わりました。

その後、意見交換会へと会場を移し、ゆとりが丘クリニック高橋院長の挨拶で会が始まりました。その後、歓談半ばに自己紹介にて当院医師紹介を行いました。

当院への意見や要望を医師自らが直接伺うことができ、大変有意義な時間となりました。回数を重ねる度に、より和やかな雰囲気が会場全体に溢れ、当院に対する期待と同時に、着実に連携の輪の広がりを感じることもできる時間となりました。

最後に千葉副院長の御礼の挨拶で散会となりました。

今後、益々の病院の成長や発展のためには、クリニックの先生方との顔の見える連携づくりを維持強化し、双方で支え合っていくことの大切さを実感した懇談会でした。

ご参加いただきました先生方、暑夏のご多忙の折、大変ありがとうございました。

管理課長 豊田 篤





平成30年度 結核医療研修会のお知らせ

地域の医療機関を対象に、今年も下記のとおり開催致しますので、多数の御参加をお待ちしております。

記

日時：平成30年12月8日（土） 12：50 ～ 16：00

場所：盛岡市盛岡駅前通1番44号 ホテルメトロポリタン盛岡 本館

国立病院機構盛岡病院 診療担当医一覧表

平成30年11月1日現在

●受付時間 8:30～11:00（急患については随時対応）

※電話による予約受付時間：13:00～17:00 **専用電話：019-645-4564**

診察ご希望の方は、下記の曜日、時間等をご確認の上、ご予約下さい。

診療科目		新・再別	月	火	水	木	金
呼吸器内科／ 一般内科	午前	新 患	高原政利	梅沢 純	梁井 香	山田博之	☆東北大学 呼吸器内科医師
			菊池喜博	木村啓二	菊池喜博		
		再 来	山田博之	梅沢 純	水城まさみ	山田博之	－
			(9:15～) 菊池喜博	木村啓二	菊池喜博	木村啓二	－
			高原政利	古和田浩子	梁井 香	守口奈緒美	－
	午後1:30 ～3:30	新患・再来	木村啓二	山田博之	守口奈緒美	山田博之	菊池喜博 (木村・千葉)
循環器内科	午前	新患・再来	－	－	(13:00～) ☆田巻健治	☆東北大学 循環器内科医師	☆東北大学 循環器内科医師
内科(糖尿病・ 内分泌内科)	午前	新患・再来	－	－	☆岩手医科大学 糖尿病・代謝内科医師	－	－
化学物質過敏症 環境アレルギー	午後	再 来	－	－	－	－	水城まさみ
消化器内科	午前～ 午後3時	新患・再来	工藤典重	穴倉かおり	－	塩塚かおり	－
リウマチ科 (内 科)	午前	新患・再来	千葉実行	千葉実行	千葉実行	－	千葉実行 (最終週は休診)

※呼吸器内科・一般内科の午後外来は、新患・再来・予約外の急患について午後1時30分～3時30分の時間で診療を行います。

診療科目		新・再別	月	火	水	木	金
整形外科・ リウマチ科 (整形外科)	午前	新患・再来	大山素彦	大山素彦	本田剛久	大山素彦	☆大竹高行 (第1・3・5週) 大山素彦 (第4週)
			本田剛久	本田剛久 (第2週 佐藤)	佐藤研友 (11時まで)	佐藤研友 (10時まで)	佐藤研友
			佐藤研友 (第2・4週)11時まで	－	－	－	本田剛久
		再 来	☆小山田喜敬	－	－	－	☆小山田喜敬
脊椎外来	午後2時 ～4時	新患・再来	－	－	－	大山素彦 (紹介予約制)	－

診療科目		新・再別	月	火	水	木	金
小児科	午後	新患・再来	☆和田博泰	－	－	－	－

※特殊外来(乳児健診、予防接種、出産前の小児保健指導)は毎週月曜日の一般診察の中で行います。

診療科目		新・再別	月	火	水	木	金
リハビリ テーション科	午前	新患・再来	－	☆山口一彦	－	☆山口一彦	－

「☆」は、非常勤の先生です。

独立行政法人国立病院機構盛岡病院

岩手県盛岡市青山一丁目25番1号

病院代表 TEL 019-647-2195

FAX 019-646-1195

